

将来像

東日本の顔となるまち

東京中心部、北関東・東北地方や上信越地方と連携し、多様な都市活動が展開される東日本の交流拠点都市として、また、さいたま市の「顔」として、市民が誇りに思えるまちをつくります。



おもてなし、あふれるまち

大宮らしさを感じさせる様々な場所の個性を活かした「おもてなし」にあふれる地域として、初めて訪れた人も、通勤や通学で毎日通っている人も、住んでいる人も、楽しめるまちをつくります。

氷川の杜、継ぐまち

豊かな都市生活を守り、育て、継承していく地域として、氷川の杜に象徴される地域資源の活用、環境負荷の低減や高齢化社会への対応、次世代の育成などに取り組むまちをつくります。



まちづくりの方針

■おもてなし都心ゾーン

ターミナル街区
(駅・駅前ゾーン)

おもてなし
機能集積ゾーン

駅周辺複合
市街地ゾーン

- 大宮駅とその周辺街区が一体となり、交通の要衝、まちの玄関としての機能強化を図ります。
- 既存の商業・業務集積エリアを中心に、多様な商業機能や高次業務機能などのおもてなし機能を展開します。
- 地域の周縁部では、都心生活を豊かに享受できる住宅・商業・業務機能が適切に複合する市街地を形成します。

■シンボル都市軸

東西シンボル
都市軸

氷川参道
歴史文化軸

- 地域の中心を東西につなぐシンボル軸を形成し、都心の多様な活動を支えるとともに、駅からの眺望を確保しつつ、沿道整備を行います。
- 氷川参道沿道では、氷川の歴史・文化を継承するため、沿道環境の保全と適切な空間活用を図ります。

■おもてなし体感空間

おもてなし
歩行エリア

おもてなし
ひろば

駅前
ひろば

まちなか
ひろば

杜の
ひろば

ミニ
ひろば

- あらゆる人が街を楽しみながら、快適に、安全に、安心して過ごせる歩行空間を面的に創出します。
- 都心での多様な活動を支える機能や、都市の安全性や環境向上に資する機能などを備えたひろば空間を創出します。

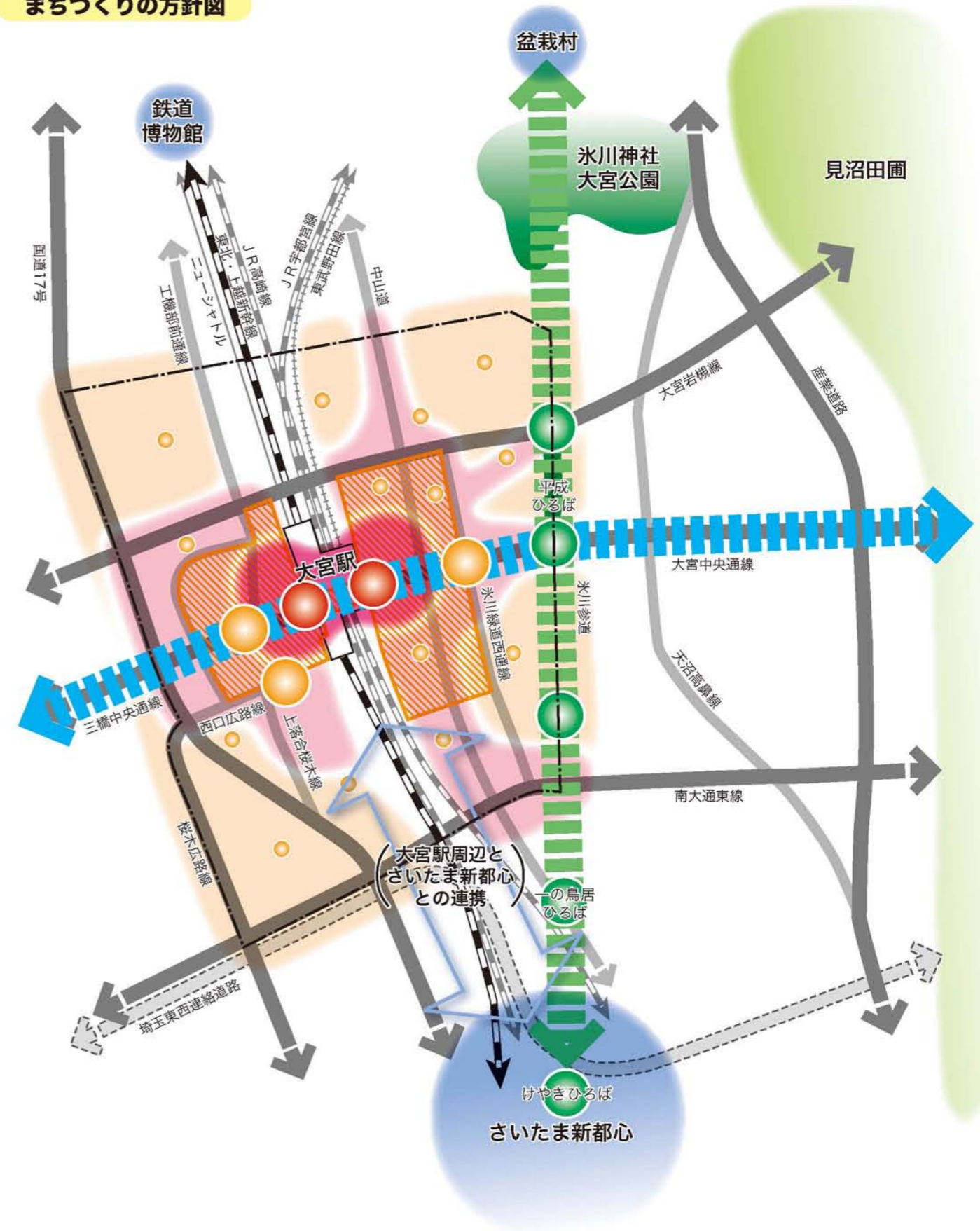
■都心活動を支える交通基盤

外周
道路

地域内
幹線道路

- 通過交通と公共交通を含む地域アクセスの役割分担を図り、おもてなしのまちづくりを支えます。

まちづくりの方針図



「将来像」を実現するため、「まちづくりの方針」に沿って

まちづくり戦略

交通戦略

推進戦略

を構築し、まちづくりに取り組みます